

[議題 2]

田名地区における公共交通整備について

[質問の具体的内容]

田名地区は、公共交通機関としてはバスしかないため、田名地区に電車を走らせることや、バスの便をもっとよくすることについて、現在、公共交通整備促進協議会を中心に取り組んでいる。

政令指定都市としての相模原市や、市民のためになるまちづくりの推進、首都圏南西部における広域交流拠点としての機能を果たすため、相模原市に何が必要なのか。また、それをどのように、いつまでに実施していくのか。20年後の将来を見据えて住みよいまちづくりを進めるための設計図が新しい総合計画であり、新都市計画マスタープランであると理解している。

その設計図の中で最も重要なことは、相模原市全域を対象にした公共交通網の整備促進ではないかと考える。田名地区には電車がなかったので、引っ張ってほしいというエゴで申し上げているわけではなく、市全体を考えた中で、交通の便をよくするために申し上げている。

特に平成 15 年、16 年あたりから田名地区ではその機運が盛り上がり、市長を初め関係機関へ要望を行っている。ここ数年の地域市政懇談会においても要望しており、昨年度は「新しい総合計画における位置づけについては、新都市計画マスタープランの策定を進める中で、その方向性を検討していく」との回答をいただいた。

平成 20 年 5 月には、田名地域まちづくり会議を中心に協議した田名地域まちづくり提言書の重点項目として、小田急多摩線と新しい交通システムの田名方面までの整備について市長に提言した。市長は、会議等のあいさつの中で、「田名方面まで延伸しなければ意味がない」と話をしているが、文章の中には田名という言葉は明記されていないので、田名方面までの延伸について計画書に明記していただけないか。

新しい総合計画や新都市計画マスタープランが、おおむね 20 年後の相模原市のあるべき姿を示しながら、1 年 1 年実現していくためのものであるならば、平成 12 年に出ている国の答申や既存の計画の有無、予算の有無、採算性、小田急電鉄の考え方などをできない理由にしないで、相模原市の将来を方向づける市民の夢として設計図をかいてほしい。

そこで、小田急多摩線の田名方面への延伸と新都市交通システムの田名方面への導入について、新しい総合計画と新都市計画マスタープランの中にどのように位置づけられ、組み入れられる考えなのかお尋ねしたい。

新都市計画マスタープランの骨子案 11 ページの下段に、小田急多摩線の延伸と新しい交通システムの導入についての注意書きが小さくあり、その中に、小田急多摩線は JR 上溝駅への延伸と表記され、新しい交通システムは相模大野駅から原当麻駅まで導入するとの表記がある。新都市計画マスタープランは、20 年先を見た計画なので、今ある計画の説明をしているとはいっても、ここに明記すべきではないのではないのか。これを見た市民に、相模原市はこういう計画でいる、ここまでしか延伸されないとの先入観や誤解を与えるような表示はしないでいただきたい。

上田名のバスターミナルについては、目前の課題として、整備するとの話を聞いたが、全く進んでいないように見える。このため、どうなっているのかとの質問が多くある。既に用地交渉に取り組んでいただいております、時間の問題だとは思っている。田名のあすを拓く委員会の交通分科会において所管部署との調整等も行っており、それぞれ進捗状況も確認していただいているが、県道 48 号（鍛冶

谷相模原)の拡幅と併せて、速やかに整備していただくよう努力をお願いしたい。

[回 答]

- ・ 総合計画は、まさに市全体の計画や施策をすべて取り込んでいるが、都市計画マスタープランは、その中のハード面の部門別の計画として策定するものであり、土地利用や交通、道路などハード面の総合計画との見方ができるものと思っている。
- ・ 新都市計画マスタープランの素案の中の小田急多摩線の延伸と新しい交通システムの注意書きについては、現状について記載しているものなので、ご理解いただきたい。
- ・ 小田急多摩線については、交通政策審議会の答申では、小田急唐木田駅から JR 相模線方面への延伸とあり、JR 相模線の中では、現段階では上溝駅が一番よいと考え、小田急唐木田駅から 8 キロメートルの延伸について取り組みを行っている。
- ・ この取り組みがどうなるかは非常に大きな問題であり、JR 上溝駅まで延伸しなければ、そこから先はないので、今、JR 上溝駅までの延伸を具体化させるために取り組んでいる。
- ・ しかしながら、小田急多摩線の延伸については、町田市との関係があり、なかなか難しい状況にある。
- ・ 来年度には、町田市と共同調査を行った中で、具体的な計画として取り組みたいと考えている。
- ・ 将来の夢という話があったが、夢を夢で終わらせないように形で考えなければいけないと思っているので、慎重に中身を吟味して計画への位置づけを検討する必要がある。
- ・ 新しい総合計画には総合計画審議会があり、新都市計画マスタープランには都市計画審議会があり、相互に連携を図りながら、各地域からいただいた提言の内容について審議を行うことになる。
- ・ 来年度に、これらの審議会からの最終答申に先立ってパブリックコメントを行うが、その前段で皆さまに説明する予定なので、そういう中で改めていろいろなお意見をいただければと思っている。
- ・ 市長から小田急多摩線等について、「上溝で止めることはない、もっと先まで整備していくべきである」との意見があり、事務方としては、それらについて、将来の構想としてどのような扱いをしていくのかを検討している。
- ・ 新都市計画マスタープランの素案を見るとわかるが、東京方面から JR 相模原駅を通り、上溝から愛川方面までの交通軸が大変重要だと考えている。
- ・ 今の段階では、この交通軸は何なのか明確には示していないが、具体的な計画として、例えば小田急線を延伸させるとの掲載は可能かもしれない。
- ・ しかしながら、具体性等を将来的に考えたときに掲載することがよいのか難しいため、愛川方面への交通軸が必要であるということでカバーしており、具体的にどのような方法をとるかまでは決めていない。
- ・ こうしたことについても、これから審議会等の中で議論して、最終的にどうするかを決めていきたい。
- ・ 小田急多摩線については、具体的にどのような形で延伸させるか、町田市や小田急電鉄、鉄道運輸機構のご協力をいただいて、検討会で検討を行っている。
- ・ 現在、JR 上溝駅までのルートで検討しているが、約 1,200 億円の費用がかかるので、どのような金の負担の仕方が一番よいのか、また、乗降客がどうなのか等細かなところまで検討している。
- ・ これらについて、町田市との共同調査ができないと具体化に進まないなので、来年度以降、共同調査ができればと考えている。
- ・ 上田名のバスターミナル整備についてだが、公共交通は、高齢化に伴い非常に大事だと思っている。

- ・ 市では、市バス交通対策基本計画を策定し、市内に9つのバスターミナルを配置する計画があり、その中の1つが田名地区のバスターミナルである。
- ・ これについては、具体的な計画に基づいて、地権者に説明を行い、現在用地取得を進めているところである。
- ・ 用地取得は4,500平方メートル必要だが、この1年間で約1,900平方メートル、4名の地権者に契約していただき、取得率は約42パーセントである。
- ・ 今年中にもう一人、契約ができそうであり、約400平方メートル取得できる見込みが立っている。
- ・ これが取得できると、取得率は約50パーセントになる。
- ・ 予定では、平成21年度から22年度の2年間で整備したいと考えており、平成23年度当初の供用開始を目指して取り組みを進めている。
- ・ なお、ヨークマートの道路を挟んで反対側の用地については、既に取得しており、上田名バス停利用者のサイクルアンドバスライド用の駐輪場として暫定的に使っている。
- ・ 「田名地域の公共交通を考える会」などの様々な会があるので、必要に応じてそうした皆さまにご相談をさせていただくこともあるかもしれないが、その際はぜひよろしくお願ひしたい。

(企画政策課、都市計画課、小田急多摩線・新交通推進課、都市交通計画課)

[議題2に対する質問等]

<質問等>

- ・ 政令指定都市に向けて「内陸ハブ・シティ」として、どこまでが近隣市町村なのか、どこまでが交流拠点都市に入るエリアなのか、いろいろな問題があると思う。
- ・ 先般、市長が厚木市長に会ったとき、厚木市は北部の交通網がかなりひどいので関心があり、厚木市で独自で調査を行うようだが、場合によっては、相模原市さん、よろしくお願ひしますと言われたとの話も聞いた。
- ・ そういう点について、政令指定都市は近隣市町村にどう責任を持つのか。
- ・ 道路だけの問題ではなく、住民が移動しやすい手段として、ある程度公共交通網をしっかりと構築しなければいけない部分もあると思う。
- ・ 政令指定都市を目指す以上、近隣市町村に対する政令指定都市としての責任上も、明確に市の計画にそのことを位置づける必要がある。
- ・ それが政令指定都市移行を目指す相模原市の責任だと考える。
- ・ 都市計画審議会や総合計画審議会において、新しい総合計画や新都市交通マスタープランについて議論がされているが、逐一情報を提供していただきたい。
- ・ 田名地区だけの問題ではなく、政令指定都市としての責任の上から10年後、20年後のまちづくりの起点として、小田急多摩線の位置づけをぜひ行っていただきたい。
- ・ また、ぜひ計画立案の段階で田名方面への位置づけをしていただきたいと改めてこの場でお願ひする。

<質問等>

- ・ 回答を聞いたが、こちらから出した質問に対して具体的に答えていない気がする。
- ・ 新都市計画マスタープランに田名方面との明記がどうしてもできないのか。
- ・ 明記してくださいと要望しているが、できるのか、できないのか。
- ・ 原当麻駅や上溝駅までとなっているのを、第2期でもよいので田名方面まで整備することを将来の計画として位置づけてほしい。

<回答>

- ・ できるか、できないか、今の段階ではわからない。
- ・ これは総合計画審議会等の関係もある。
- ・ また、総合都市交通計画をこれから策定することになるが、その中で、公共交通の役割分担や私的な交通の役割分担も含めて、相模原市内の交通のあり方やあるべき形を議論することになる。
- ・ 総合計画の方が上位計画になるので、その中で田名方面に小田急多摩線を引くと明記すれば簡単かもしれないが、いろいろ議論があるので、今の段階で田名方面までの延伸を実現させることや2期工事として行うことについて明記することは難しいと思う。
- ・ 従来の鉄道には、線路を敷けば、そこに人が集まってもうかるとの考え方があったが、今は、鉄道事業者は高齢化社会のことを考えており、人口が減少している中で鉄道を敷いてもどれだけの人が乗るかわからないので、非常にシビアになっている。
- ・ また、国の交通政策審議会での位置づけが明確にならないと、鉄道事業者自体が事業としては100パーセントやらないと思われる。
- ・ 現在、交通政策審議会で位置づけがされているのは上溝駅までなので、その部分については一生懸命取り組んでいるが、田名地区の夢をどう判断するかは非常に難しいと思う。
- ・ これから新しい総合計画や新都市計画マスタープランを策定していく中でいろいろな議論があり、また専門家の意見や市長の意見もあるので、そういうものを踏まえた中で地域の皆さまに説明し、皆さまのご意見をお聞きした中で、最終的にどうするか判断することになると思っている。
- ・ 具体的な鉄道としての位置づけが何もない中で、相模原市の将来を見込んで、こういうことをやりたいと夢のような形で載せるのが果たしてよいのか。
- ・ これは難しい問題であり、今の段階では、明快に載せますとは言いつらい部分がある。
- ・ 田名地区の皆さまがこれからいろいろ運動するような話もあるので、そういうことも含めて考えていきたい。

<質問等>

- ・ 市長が田名方面まで整備しなければだめだと安易に話をされてしまうと、希望を持ち、計画だけでも載せてくれるだろうと考えてしまうので、安易に話されては困ってしまう。

<質問等>

- ・ 今後は諸機関に対していかに具体的に運動するかが重要である。
- ・ これから年度末に向けていろいろな運動を仕組みたいと思うので、田名地区は全力を挙げてこれにあたりたい。